

海外で販売される沖縄県産品・県外産品

那覇空港から空輸した日本の新鮮な青果物をはじめとする生鮮食品や加工食品等は、那覇空港から空路4時間圏内にあるアジアの主要都市の量販店やECサイト等で販売されています。

香港の量販店



シンガポールの量販店



お問い合わせ先



沖縄国際物流ハブ、航空コンテナスペース利用促進事業に関すること

沖縄県 商工労働部グローバルマーケット戦略課 TEL:098-866-2340

貨物輸送に関すること

沖縄ヤマト運輸株式会社 法人事業部ロジスティクス支店 TEL:098-852-0170

沖縄 NX エアカーゴサービス株式会社 (OAS 航空) 那覇空港支店 TEL:098-858-6450

株式会社OCS フォワーディングセールスセンター沖縄営業所 TEL:098-891-9690

琉球通運株式会社 国際物流部フォワーディング課 TEL:098-857-5380

沖縄空輸株式会社 国際貨物通関事業部 TEL:098-859-3441

那覇空港発着便、その他運航に関すること

株式会社 ANA Cargo 日本統括室 沖縄統括支店 TEL:098-859-7253

日本航空株式会社 日本地区貨物販売支店 沖縄販売部 TEL:098-840-1530

※最新情報については、沖縄県公式ホームページ内グローバルマーケット戦略課のウェブサイトでご確認ください。

沖縄国際物流ハブ



Okinawa International Logistics Hub

那覇空港を利用した国際貨物輸送のご紹介

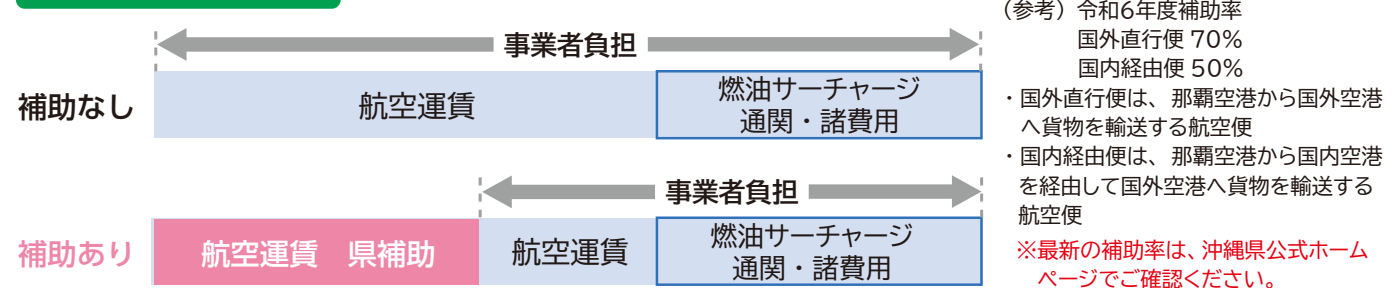
Introduction of Cargo Transportation at OKINAWA NAHA airport



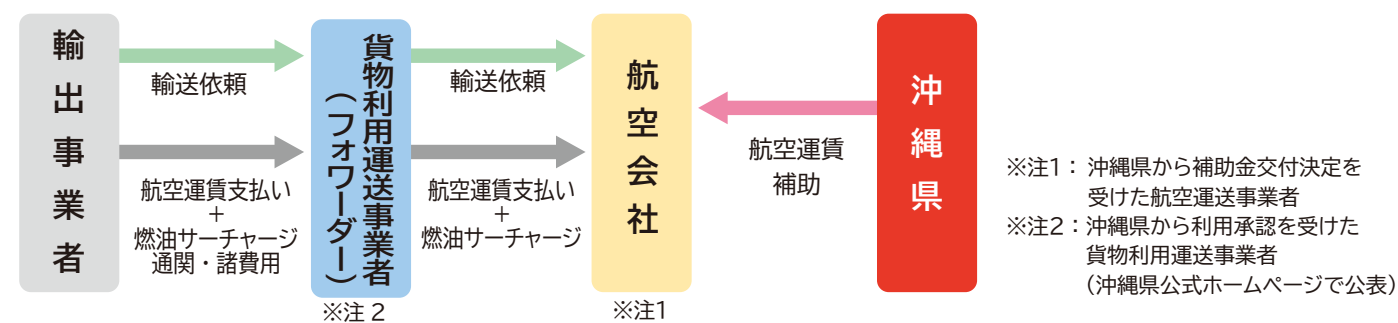
航空コンテナスペース利用促進事業の概要

沖縄県では、那覇空港を拠点とする国際航空物流ネットワークの拡充に向け、那覇空港からアジア地域に輸出される貨物の輸送について、航空会社に航空運賃の一部を補助する事業を実施しています。
輸出事業者等は、この補助が反映された航空運賃により貨物を輸送することができます。

運賃補助のイメージ

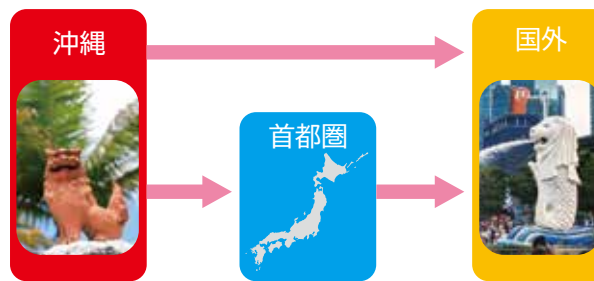


利用の流れ



補助活用例

1 沖縄(→首都圏)→国外



2 県外→沖縄→国外



→：運賃補助区間
→：運賃補助なし区間

※ここに記載の対象貨物・仕向地や留意事項等は、令和6年度の事業概要です。最新の対象貨物・仕向地やその他利用条件等については、
沖縄県公式ホームページ内グローバルマーケット戦略課のウェブサイトでご確認ください。

対象貨物・仕向地 ※

対象貨物

農作物、畜産物、水産物、加工食品、化粧品、工芸品、精密機械、航空機部品等及びそれらに付随する販促品(販促品単独の貨物は対象外)

対象仕向地

台湾、韓国、中国(香港・マカオ除く)、香港・マカオ、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、フィリピン

利用対象事業者

貨物利用運送事業者、生産者、製造事業者、商社等卸業者、流通業者

留意事項等 ※

利用資格

- ・沖縄県内に本店又は支店を有する輸出事業者等であること
- ※輸出事業者が、県の利用承認を受けた貨物利用運送事業者を利用する場合は、輸出事業者の利用承認は不要。
- ・本事業が終了した場合でも、継続して沖縄からの航空輸送を計画する者であること
- ・輸送に係る諸経費を県や航空会社に開示可能な者であること

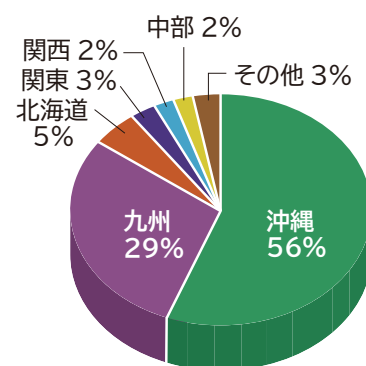
留意事項

- ・補助対象となる貨物輸送方法は常温輸送であるため、保冷コンテナの利用等に当たっては航空会社(補助対象事業者)への事前確認が必要。
- ・貨物の搬入に当たっては、事前に貨物利用運送事業者、航空会社と調整すること
- ・実際の航空運賃等の費用や航空便の運航、貨物輸送方法については、貨物利用運送事業者又は航空会社に問い合わせること

令和5年度輸送実績(総重量 708.6t(梱包資材重量を除く))

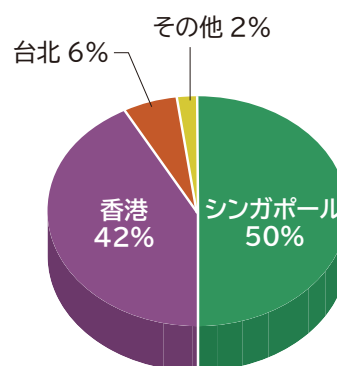
▼産地別

輸送品を産地別に見ると、沖縄県産品が56%、県外産品が44%でした。
県外産品は、全国から集荷されていますが、九州産がその6割以上を占めています。



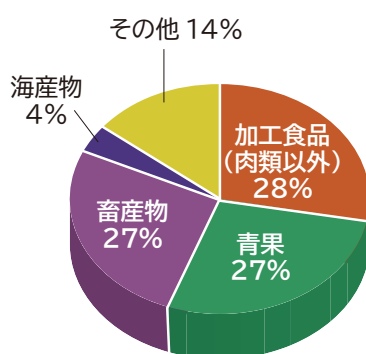
▼輸送先

主な輸出先は、シンガポールと香港であり、台北が続きます。
シンガポールと香港への輸送が全体の9割以上を占めています。



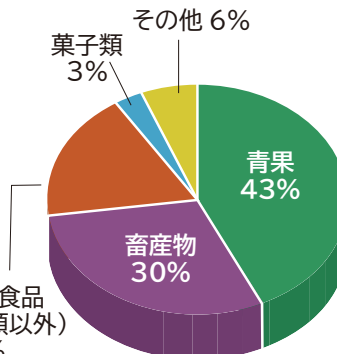
▼品目 | 沖縄県産品

沖縄県産品は、加工食品(肉類以外)、青果、畜産物がほぼ同じ割合であり、これら3品目が輸送された県産品の約4分の3を占めています。



▼品目 | 県外産品

県外産品で最も多いのは青果物であり、畜産物、加工食品(肉類以外)が続きます。これら3品目で輸送された県外産品の約9割を占めています。



那覇空港から輸送した貨物の温度変化(令和6年10月下旬~11月中旬実測結果)

那覇空港から国外直行便を利用して輸出する貨物にロガー(温度計)を設置して輸送中の温度変化を検証しました。荷主の方にも概ね満足いただく結果となりました。



シンガポール向け
台北経由便 | 青果

空港周辺のフォワーダー倉庫で梱包(保冷剤なし)、那覇空港内で保冷保管後に輸送。
▶ 経由地の台北の空港での積替え時、温度上昇はほとんどなかった。
▶ シンガポールには、沖縄での梱包日の翌々日午前中に到着

